RevA - ver.1.0

cloudburst

ambient reverb

日本語ユーザーマニュアル

USB
TRS MIDI

strymon®

もくじ

各部の名称と働き 3
フロントパネル・コントロール 3
リアパネルI/O &コントロール 5
モノ&ステレオI/Oケーブルの接続 5
パワーアップ・モード 8
Mono I/Oのバイパスモード 8
スピルオーバー・モード 9
ドライシグナル 10
EXP/MIDI ジャックの設定 11
外部コントロール 13
エクスプレッションペダルのセットアップ 13
フェイバリットスイッチの設定とコンペアモード 14
フリーズまたはインフィニティ・モード スイッチの設定 16
MultiSwitch Plus の設定 18
MultiSwitch Plus の使用 19
MultiSwitch Plusでプリセットを保存する 19
MIDI機能 20
MIDI を使用するためのcloudburst の設定 20
MIDI モードでプリセットを保存する 25
MIDI スペシフィケーション 26
MIDI プログラムチェンジ 26
MIDI CCs 27
ファクトリーリセット 28
主な特徴 30
スペシフィケーション 31
電源アダプター規格 31
Appendix 1：サンプルセッティング 32
Appendix 2：パワーアップモード　クイックリファレンス 34
品質保証に関して 37

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール

LEDインジケーター
エフェクトがオンの場合、レッドに点灯します。
フットスイッチでエフェクトをオン/オフします。
パワーアップモード機能も表示します。
（8ページをご覧ください。）

DECAY/ディケイ
リバーブの減衰時間を1秒から50秒以上まで制御します。
低い設定はリバーブスペースのサイズを小さくします。

PRE-DELAY/プリディレイ
リバーブ信号が始まるまでの時間を設定します。
自然なリバーブを得るには、高めの**PRE-DELAY**と低めの**MIX**設定を選びます。

FOOTSWITCH/フットスイッチ
エフェクトをオン/オフします。
エフェクトオンの時、レッドLEDが点灯します。

NOTE：フットスイッチを長押しして、エクスプレッションペダルのパラメーターを設定します。13ページをご覧ください。
オプションで、外部フットスイッチで行う**FREEZE**または**INFINITE**モード機能も設定できます。（16ページをご覧ください。）

ノブとスイッチ

フロントパネル・コントロール

ENSEMBLE/アンサンブル
入力信号を分析し、ストリングセクションを連想させる倍音豊かなサウンドを生成します。
Off：（左の位置） アンサンブル効果なし。
***mp*：**（ミドルポジション、メゾピアノ、「ミディアムソフト」を意味します。）微妙な効果の中量アンサンブル。
***forte*：**（右の位置、「強い」または「大きな」）最大量の豊かなサウンドスケープを生み出すアンサンブル効果。

MIX/ミックス
最小でフルドライからドライ信号なしのフルウェットまで、リバーブミックスをコントロールします。ノブの3時の位置で 50/50 のミックスが得られます。
（ドライシグナルの選択については、10ページをご覧ください。）

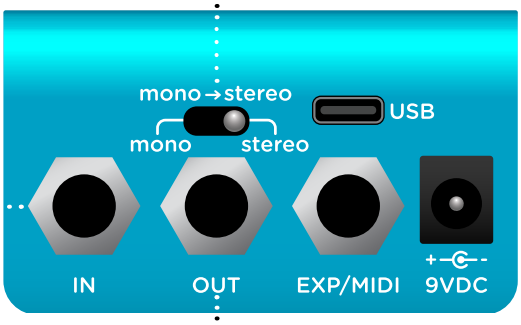
TONE/トーン
リバーブの高域成分を調整します。低い設定では暗くて暖かく、高い設定では明るく鮮明なリバーブ音が得られます。

MOD/モッド
リバーブ信号に幅広い変調を加えます。最小設定ではモジュレーションはオフです。

リアパネル I/O ＆コントロール

I/O モードセレクター

Mono :（左の位置）ギターなどのモノラル入力信号で使用します。
出力はモノラル、デフォルトはトゥルーバイパスです。
mono → stereo :（センター位置） モノラル入力信号で使用します。
出力はステレオ、バイパスモードはバッファードバイパスです。
Stereo :（右の位置） ステレオ入力信号で使用します。出力はステレオ、バイパスモードはバッファードバイパスです。
ステレオ I/O には、TRSアダプターまたはケーブルが必要です。
（次の例を参照してください。）

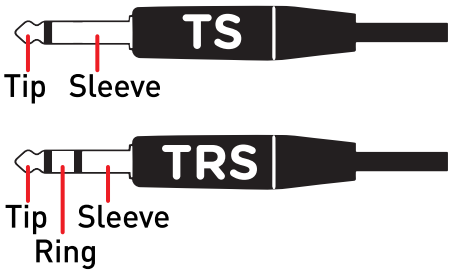


IN
ハイインピーダンス、超低ノイズ、ディスクリートクラスA JFET TRSステレオプリアンプ。

OUT
ローインピーダンス TRSステレオ出力。

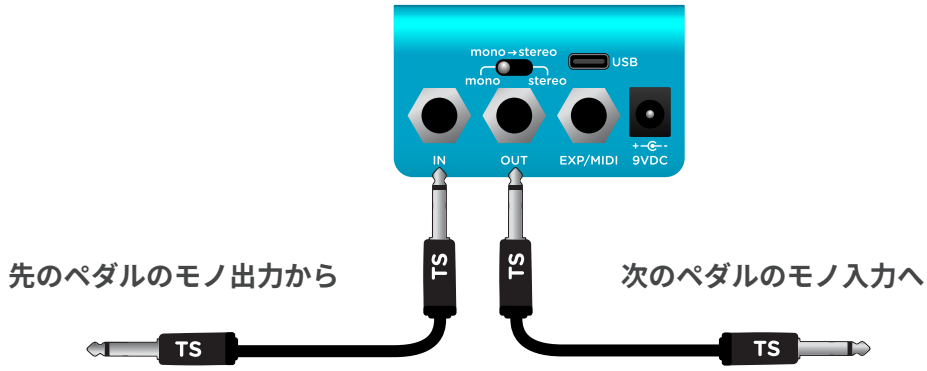
モノ＆ステレオI/Oケーブルの接続

本機の**In＆Out**ジャックは、TSまたはTRSタイプの1/4“フォーンケーブルでモノまたは、ステレオ接続します。

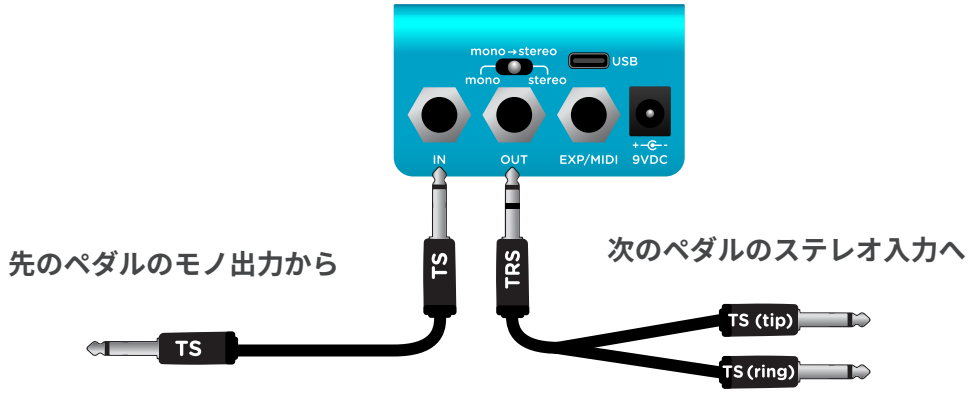


NOTE：TRSステレオ接続では、**左**信号は**Tip**、**右**信号は**Ring**を通過します。

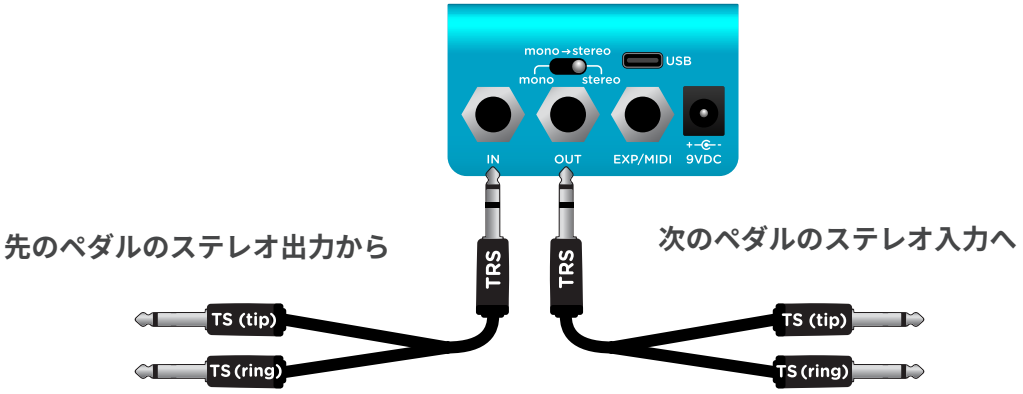
Mono In - Mono Out：cloudburstをモノ信号チェーンに接続するには、INとOUTの両方にTSケーブルを使用します。 I/Oセレクタースイッチの設定はモノにします。



Mono In - Stereo Out：cloudburstにモノ信号を入力するにはTSを使用し、**IN**に接続します。TRS + デュアルTS ケーブルを**OUT**に接続し、ステレオ信号をステレオペダルにルーティングします。 **I/Oの設定はセレクタースイッチ**で**モノ→ステレオ**にします。



Stereo In – Stereo Out : cloudburstをステレオシグナルチェーンに接続するには、**IN**と**OUT**の両方にTRS + デュアルTSケーブルを使用します。**セレクタースイッチ**を**ステレオ**にして**I/O**を設定します。



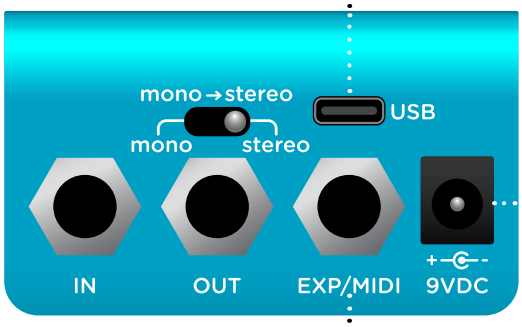
NOTE：TRS - TRSケーブルを使用してペダルを接続することもできます。（El CapistanのTRSステレオ入力に接続する場合など）

リアパネル I/O ＆コントロール

USB-C
MIDI I/Oとファームウェアの更新に使用するコンピューター用接続ジャックです。

9VDC/DC9V
以下の仕様アダプターのみを使用してください。
- 9VDC、センターマイナス
- 最小250mA

（アダプターは別売りです。）



EXP/MIDI
cloudburstの外部制御用の多機能通信ジャックです。
以下のいずれかで動作するように設定できます。（詳細は11ページの「EXP/MIDI ジャックを設定する。」をご覧ください。）

- エクスプレッションペダルモード （13 ページをご覧ください。）
- フェイバリットモード （14 ページをご覧ください。）
- フリーズモード （16 ページをご覧ください。）
- インフィニティ・モード （16 ページをご覧ください。）
- MIDIモード （18ページの「MultiSwitch Plusの設定」または、19ページの「MIDIモードでプリセットを保存する。」をご覧ください。）

パワーアップ・モード

Mono I/O のバイパスモード

背面の **I/O モードセレクター**をモノラルに設定すると、本機はデフォルトのトゥルーバイパスに設定されます。 バイパスモードをバッファードに設定すると、ペダルチェーンとの長いケーブルでの接続でも高域特性は損なわれません。

NOTE：背面の **I/Oモードセレクター**を**モノ→ステレオ**または**ステレオ**に設定すると、バイパスモードは自動的にバッファードバイパスに設定されます。

❶ フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LED が点滅したらフットスイッチを離します。

❷ **ENSEMBLE**（**BYPASS MODE**）スイッチを切り替えて、True または Buffered Bypass モードを決定します。スイッチを切り替えると、LED の色が変わり、現在のステータスが表示されます。

- **True Bypass**（トゥルーバイパス）：スイッチを **off**（左）の位置に設定します。LED は**グリーン**に点灯（デフォルト設定）します。
- **Buffered Bypass**（バッファードバイパス）：スイッチを **forte**（右）の位置に設定します。LED は**レッド**に点灯します。

❸ **フットスイッチ**を押してバイパスモードを保存し、本機の使用を開始します。

NOTE：バイパスモードの設定は、電源を入れ直しても維持されます。

スピルオーバー・モード

本機をスピルオーバーモードに設定すると、現在選択されているプリセットをバイパス、または次にロードされるプリセットに（Multiswitch Plus または MIDI を使用して）切り替えると、エフェクト信号が（こぼれ）流れ込みます。

NOTE：バッファアーキテクチャのため、現在のプリセットがアクティブである必要があります。プリセット間のスピルオーバーが機能する前に、少なくとも5秒間必要です。エフェクトをバイパスすると、すぐにスピルオーバーが動作します。

❶ フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。
LED が点滅したらフットスイッチを離します。

❷ **MOD（SPILLOVER MODE）**ノブを回して、スピルオーバーモードをオンまたはオフに設定します。ノブを回すと LED の色が変化し、現在のステータスを表示します。

- **スピルオーバーモード オフ：アンバー**（デフォルト設定、最小位置）
- **スピルオーバーモード オン：パープル**（最大位置）

NOTE：スピルオーバーがオンに設定されている場合、バイパスモードはバッファードバイパスに設定されます。

❸ フットスイッチを押してスピルオーバーモード設定を保存し、本機の使用を開始します。

NOTE：スピルオーバーモードの設定はプリセット毎には保存されません。電源を入れ直しても設定は維持されます。

パワーアップ・モード

ドライシグナル

ドライ信号は、3 つの異なる方法のいずれかで設定できます。

- **Digital Mode**（デジタルモード）では、変換されたドライ信号を使用します。MIX ノブが 3 時の位置を過ぎると、ドライ信号はエフェクト信号とのミックスから除かれます。
- **Analog Mode**（アナログモード）は、ドライ信号をアナログのまま保持します。
- **Kill Dry Mode**（キルドライモード）は、アナログドライパスの信号をミュートし、MIX ノブは「ウェット（エフェクト音）」の出力レベルのみをコントロールします。この設定はアンプのパラレルエフェクトループ内で本機を使用する場合、またはミキサーの Aux またはエフェクトセンドに接続しての使用に適しています。

❶ フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LED が点滅したらフットスイッチを離します。

❷ **TONE**（**DRY SIGNAL**）ノブを回して、3 つのドライ信号オプションのいずれかを選択します。LED の色が変化して選択した設定電流を表示します。

- **Digital Mode（デジタルモード）：グリーン**（デフォルト、最小位置）
- **Analog Mode（アナログモード）：レッド**（12 時の位置）
- **Kill Dry Mode（キルドライモード）：ブルー**（最大位置）

❸ フットスイッチを押してドライシグナル設定を保存し、本機の使用を開始します。

パワーアップ・モード

EXP/MIDI ジャックの設定

❶ フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LED が点滅したらフットスイッチを離します。

❷ **MIX（EXP/MIDI JACK）**ノブを回して、背面のパネルの **EXP/MIDI** ジャックの機能を選択します。このノブを回すと、現在の設定状態が LED の色で表示されます。

- **Expression Pedal Mode（エクスプレッションペダルモード）：グリーン**（デフォルト設定、最小位置）TRS エクスプレッションペダルにより、どのノブも連続的なコントロールが可能です。（詳細は 13 ページをご覧ください。）
- **Favorite Mode（フェイバリットモード）：アンバー**（11 時の位置）- Strymon MiniSwitch 等を使用して、フェイバリット設定を呼び出すことができます。（詳細は 14 ページをご覧ください。）
- **Freeze Mode（フリーズ モード）：レッド**（12 時の位置）- Strymon MiniSwitch 等を使用して、現在入力された信号を無限にホールド再生します。新たに入力されたノートは、リバーブには追加されずに再生されます。（詳細は 16 ページをご覧ください。）
- **Infinite Mode（無限モード）：パープル**（2 時の位置）- Strymon MiniSwitch 等を使用して、現在入力された信号を無限にホールド再生します。新たに入力されたノートは、リバーブに追加されます。（詳細は 16 ページをご覧ください。）

EXP/MIDI ジャックの設定（続き）

- **MIDI Mode（MIDI モード）：ブルー** - Strymon MultiSwitch Plus を使用して 3 つのプリセットが選択できます。Strymon Conduit または MIDI EXP ケーブル経由で送られた MIDI メッセージ（フル機能）に反応します。最大 300 プリセットにも MIDI でアクセス可能です。（「MultiSwitch Plus の設定」18 ページ、または 25 ページの「MIDI モードでプリセットを保存する」をご覧ください。）

❸ フットスイッチを踏んで EXP/MIDI ジャックモードを保存し、本機の使用を開始します。

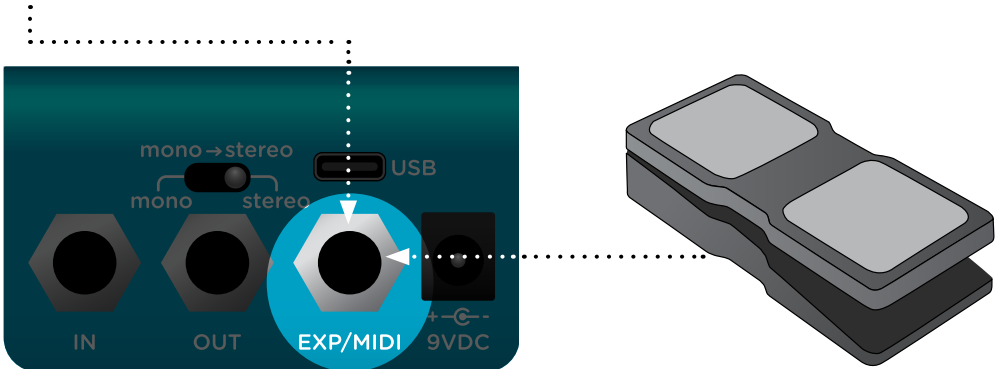
NOTE：EXP/MIDIジャックの設定はプリセット毎には保存されません。電源を入れ直しても設定は維持されます。

外部コントロール

エクスプレッションペダルのセットアップ

TRS エクスプレッションペダルを使用して、本機のノブをリモートコントロールできます。デフォルト設定では、エクスプレッションペダルで MIX ノブがコントロールできるように設定されています。

1. **EXP/MIDI** ジャックを Expression Mode に設定します。（設定の手順は 11 ページをご覧ください。）
2. エクスプレッションペダルを本機の **EXP/MIDI** ジャックに接続します。



3. LED が**グリーン**に点滅するまで、フットスイッチを 2 秒以上長押しします。
4. エクスプレッションペダルをヒールの位置まで動かします。**グリーン** LED の点滅が止まり、点灯したままになります。
5. コントロールしたいノブ（複数可）のヒールポジションでの設定を決めます。
6. エクスプレッションペダルをトウの位置に動かします。 LED が**レッド**に変わります。
7. コントロールしたいノブ（複数可）のトウポジションでの設定を決めます。
8. フットスイッチを押してから離し、セットアップの保存が終了します。

NOTE：エクスプレッションペダル設定の割り当ては、フェイバリット＆MIDIプリセットごとに保存されます。

NOTE：本機がMIDI EXPRESSIONおよびEXP/MIDIに応答するように設定されている場合、（ジャックが　MIDIモードに設定されている）、MIDI　CC#100を「0」（ヒール)、「127」（トウ）で本機へ送信できます。

外部コントロール

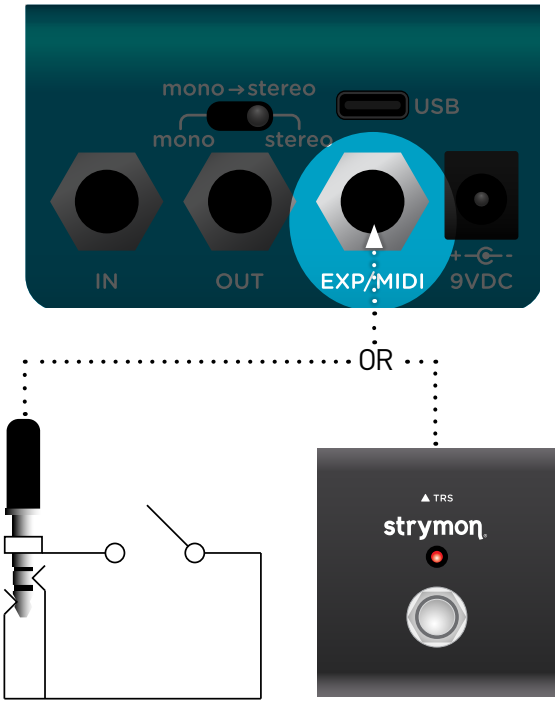
フェイバリットスイッチの設定とコンペアモード

フェイバリット設定を保存＆呼び出すために、MiniSwitchまたはその他の外部ラッチ式フットスイッチをTRSケーブルで接続します。

NOTE：strymon MiniSwitchのインターナル・ジャンパーをファクトリー・デフォルトの**FAV/BOOST**モードにし使用します。この設定でのMiniSwitchの使用時は、**FAV/BOOST**モードに戻します。（16ページをご覧ください。）

1. **EXP/MIDI** ジャックをフェイバリット モードに設定します。（詳細は11ページをご覧ください。）

2. MiniSwitch（または外部ラッチ型スイッチ）をTRSケーブルで**EXP/MIDI**ジャックに接続します。



3. 好みのサウンドをダイヤルインします。

4. サウンドを新しいフェイバリット設定として保存するには、LEDが**グリーン**に点滅するまで少なくとも2秒間フットスイッチを押します。次に、フェイバリット設定を保存するためにLEDが**ブルー**に点灯するまでフットスイッチを押し続けます。外部フットスイッチを踏んで、現設定とフェイバリット設定を切り替えます。

外部コントロール

フェイバリットスイッチ セットアップ＆コンペアモード（続き）

コンペアモード
フェイバリットまたはMIDIプリセットが呼び出された状態で、ノブまたはスイッチと現在のノブまたはトグル位置が保存された設定と一致すると、LEDが**グリーン**に点滅します。

NOTE：パワーアップモードの設定は、グローバルに適用され、プリセット毎には保存されません。

NOTE：MIDIを使用する場合、プリセットの保存は別の方法で機能します。（20ページをご覧ください。）

NOTE：フェイバリット設定は、MIDIプログラムチェンジの「0」に保存されます。

外部コントロール

フリーズまたはインフィニティ・モード スイッチの設定

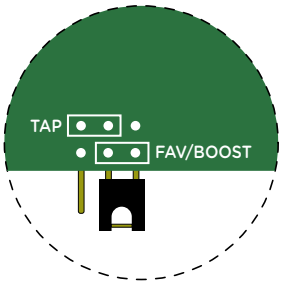
MiniSwitchまたはその他の外部ノンラッチ（モーメンタリー）タイプスイッチをTRSケーブルで接続して、本機のフリーズモードまたはインフィニティ・モードを切り替えます。

strymon MiniSwitchのインターナルジャンパーをファクトリーデフォルトの**FAV/BOOST**モードにすると（下図参照）、Freeze またはInfiniteのモーメンタリースイッチ機能として動作します。次のステップに従って、MiniSwitchのジャンパーとcloudburstの**EXP/MIDI**ジャックの設定を行います。

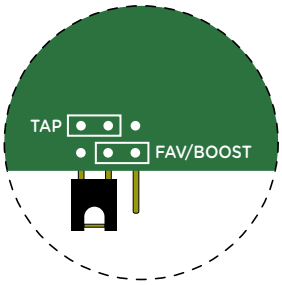
❶ MiniSwitchボトムシャーシにある4つのネジを緩めます。

❷ ボトムを開いたら、回路基板の下にある小さなジャンパーを見つけ、中央と右のピン（**FAV/BOOST モード**）から中央と左のピン（**TAP モード**）に切り替えます。

MiniSwitch 回路基板のジャンパースイッチの拡大図



FAV/BOOST モード
cloudburstのフェイバリットスイッチモードの場合、ジャンパーを2つのRIGHTピンに配置します。（MiniSwitchは工場出荷時の設定です。）



TAPモード
cloudburstのFreeze または Infinite スイッチモードの場合、ジャンパーを2つのLEFT ピンに配置します。

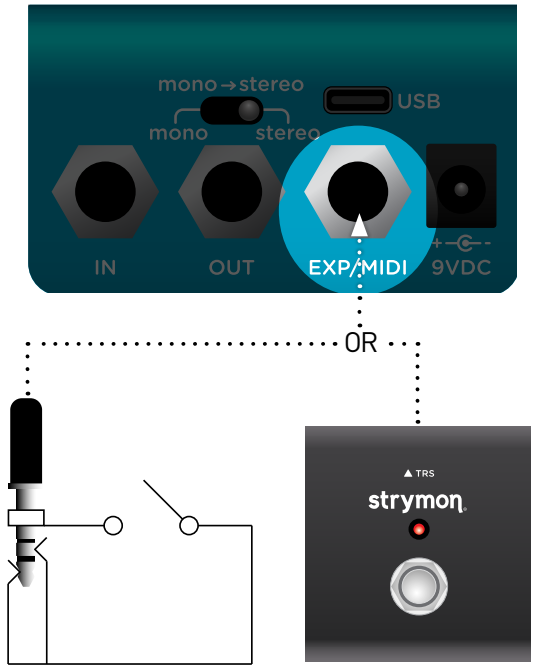
❸ ジャンパー設定が完了したら、MiniSwitchのボトムシャーシを元に戻します。

❹ Cloudburstの**EXP/MIDI**ジャックを必要に応じてフリーズ モードまたはインフィニティ・モードに設定します（詳細については、11 ページを参照してください）。

❺ MiniSwitch（または、オプションでTRSケーブル付きのモーメンタリースイッチ）を**EXP/MIDI**ジャックに接続します。

外部コントロール

フリーズまたはインフィニティ・モード スイッチの設定（続き）



❻ **フリーズ・モードの場合：**ノートまたはコードを演奏し、フットスイッチを押したままにして、その信号をキャプチャーし無期限にホールドできます。外部フットスイッチを押したまま新しいノート/コードを演奏すると、リバーブに追加されることなく「フリーズした」信号の上にそれらがそのまま再生されます。外部フットスイッチを離すとフリーズモードが解除されます。

インフィニティ・モードの場合：フットスイッチを押したままにすると、すべての入力信号にリバーブが無期限に適用されます。外部フットスイッチを離すとインフィニティ・モードが解除されます。

外部コントロール

MultiSwitch Plus の設定

本機とMultiSwitch Plusのコンビネーションで、3つの追加プリセットにアクセスできます。

❶ フットスイッチを２秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LEDが点滅したらフットスイッチを離します。

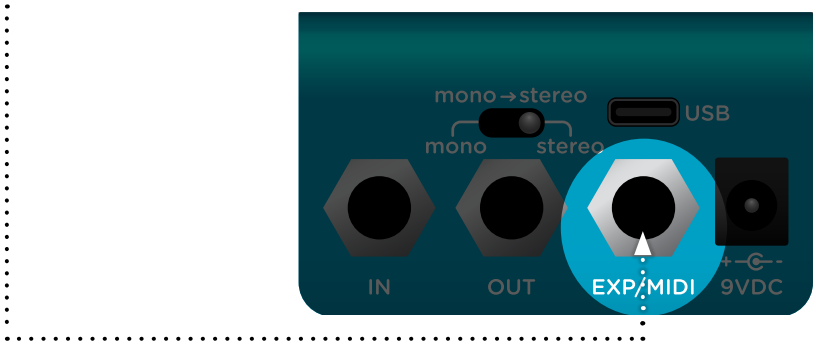
❷ **DECAY**ノブを反時計回りに回しきって、**MIDI**チャンネル１を選びます。
すると、LEDは**グリーン**に点灯します。

❸ **PRE-DELAY**ノブを回して、次の**MIDI OUT**オプションを選択します。
- **MIDI CC とその他のデータを送信：グリーン**
- **その他のデータを送信：アンバー**

❹ **MIX**ノブを時計回りに回しきって、**EXP/MIDI**ジャックをMIDIモードに設定します。LEDは**ブルー**に点灯します。

❺ 本機のフットスイッチを押して、**MIDIチャンネル**と**MIDI OUTPUT**設定を保存し、**EXP/MIDI**ジャックモードを終了します。

❻ TRSケーブルを本機の**EXP/MIDI**ジャックに接続します。



❻ MultiSwitch Plusの**Aフットスイッチ**を長押ししながら、TRSケーブルのもう一方の端子を3つのジャックのいずれかに接続して、プリセットモードをセットします。

外部コントロール

MultiSwitch Plus の使用

MultiSwitch Plusを使用したプリセットの選択と保存方法を紹介します。

Preset 1　　Preset 2　　Preset 3

NOTE：MultiSwitch Plusのフットスイッチ **A**、**B**、および **C** は、MIDI プログラムチェンジ1、2、および3に対応します。

❶ 点灯していないスイッチを踏むと、対応するプリセットが呼び出されます。

❷ 点灯しているスイッチを踏むと本機はバイパスされます。

MultiSwitch Plusでプリセットを保存する

❶ プリセットとして保存したいサウンドをダイヤルインします。

❷ LED が**グリーン**に点滅するまで、本機のフットスイッチを2秒以上長押しします。

❸ MultiSwitch Plusの**A、B、または C**フットスイッチを押して、現在のペダルの設定を目的のスイッチへ保存します。

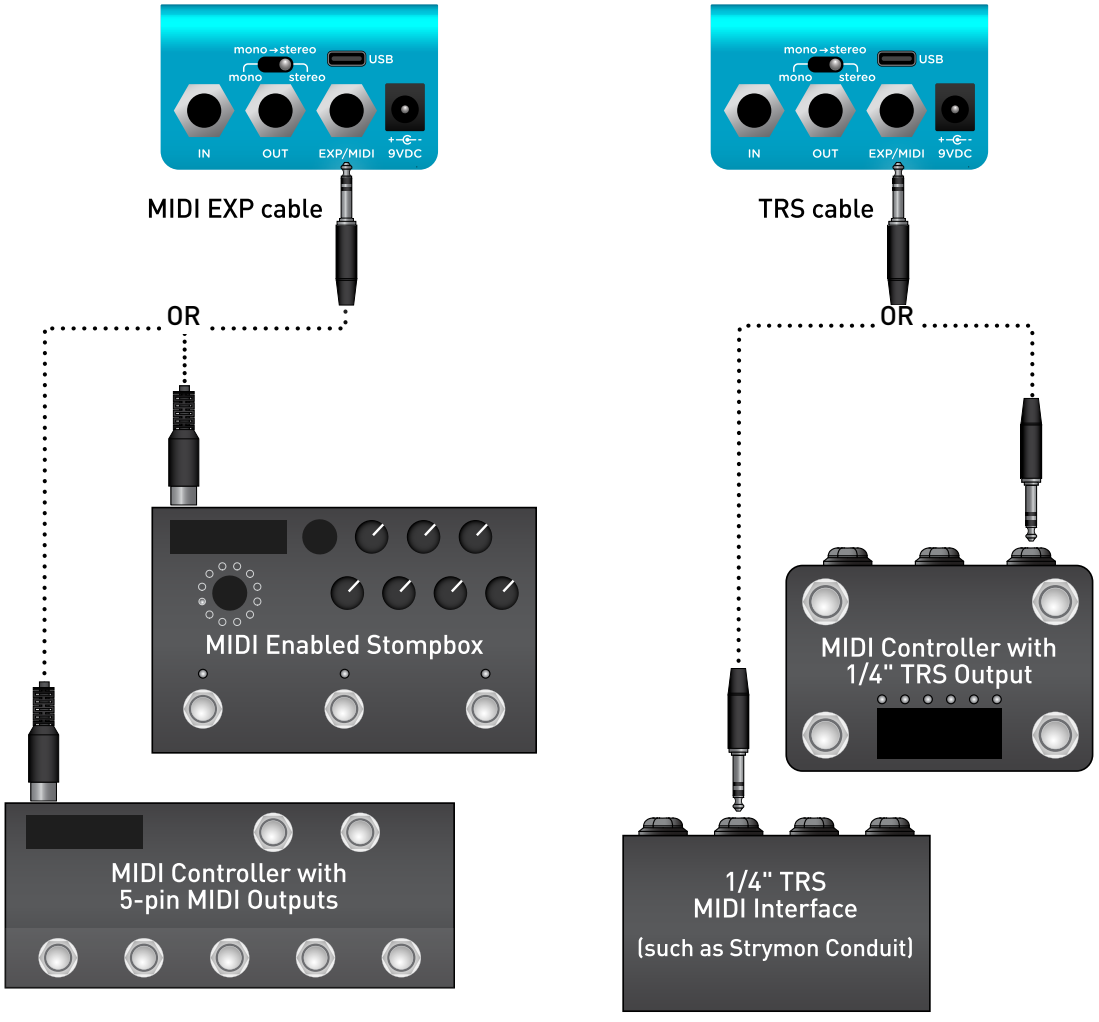
MIDI 機能

MIDI を使用するための cloudburst の設定

MIDIを使用すると、EXP/MIDIジャックに接続されたMIDIコントローラーまたはインターフェースを接続＆使用して、本機の300プリセットロケーションのいずれかをロードする一連のツールのロックが解除できます。これには、Strymon MIDI EXPケーブルまたはStrymon Conduitなどの少なくとも1/4インチ出力を備えたMIDIコントローラー/インターフェースが必要です。

NOTE：Strymon MIDI EXP ケーブルを使用する場合は、MIDI OUTモードをオフに設定する必要があります。（詳細は23ページをご覧ください。）

互換性のあるデバイスのリストについては、strymon_net/support/cloudburst をご覧ください。



MIDI 機能

MIDI を使用するための cloudburst の設定（続き）

ステップ1 – EXP/MIDIジャックをMIDIモードに設定する

❶ フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LEDが点滅したらフットスイッチを離します。

❷ **MIX**（**EXP/MIDI JACK**）ノブをLEDが**ブルー**（最大位置）になるまで時計回りに回して、MIDIモードを選択します。

NOTE：MIDIデータは、**EXP/MIDI**ジャックのTRS接続の**TIP**（チップ）で受信されます。

MIDI 機能

MIDI を使用するための cloudburst の設定（続き）

ステップ2 – MIDIチャンネルの設定

❸ **DECAY（MIDI CHANNEL）**ノブを回して、MIDI通信チャンネルを設定します。 LEDはステータスを表示します。ノブの設定位置は次のとおりです。

- **チャンネル 1：グリーン**（デフォルト、最小位置）
- **チャンネル 2：アンバー**（10時の位置）
- **チャンネル 3：レッド**（12時の位置）
- **チャンネル 4-16：ブルー**（最大位置）- 次に受信したMIDI プログラムチェンジメッセージで設定します。1/4” MIDI接続が必要です。

LEDが**ブルー**に変わると、ペダルが MIDIプログラムチェンジメッセージを受信するまで点滅します。メッセージが受信されると、ペダルはメッセージを伝送したMIDI チャンネルに設定され、Power Upモードを終了して本機の使用が開始できるようになります。
（MIDIチャンネル4〜16を正常に設定完了した場合は、次のページの項目❹をスキップできます。）

MIDI 機能

MIDI を使用するための cloudburst の設定（続き）

ステップ2 – MIDIチャンネルの設定（続き）

❹ フットスイッチを押して終了し、MIDIチャンネル設定を保存して本機の使用を開始します。

NOTE：MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、フットスイッチがバイパスの時にCC#102で127のバリューを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、フットスイッチがオンになります（LEDが**レッド**に点灯します）。

NOTE：Strymon MIDI EXPケーブルを使用して本機へデータを送信するだけの場合は、必ずMIDI OUTモードを**オフ**にしてください。（MIDI OUTモードの設定については、24ページをご欄ください。）

NOTE：MIDI チャンネルの割り当ては、フェイバリット設定またはMIDIプリセット毎には保存されません。

MIDI 機能

MIDI を使用するための cloudburst の設定（続き）

ステップ 3 – MIDI OUTモードの設定

❶ フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LEDが点滅したらフットスイッチを離します。

❷ **PRE-DELAY (MIDI OUT)** ノブを回して、本機から他のMIDIデバイスに送信するMIDIデータの種類を選択します。LEDが一瞬点滅して選択を表示します。

- **OFF：レッド**（デフォルト、最小位置）- 本機からMIDIメッセージは送信されません。
- **THRU：ブルー**（11時の位置）- 入力MIDIメッセージは、本機によって生成される追加のMIDI メッセージなしでMIDI Outから送信（出力）されます。
- **SEND CC, OTHER：グリーン**（1時の位置）- 本機によって生成されたMIDI CCおよびSysexメッセージがMIDI Outから送信（出力）されます。
- **SEND OTHER：アンバー**（最大位置） - 本機によって生成されたSysexメッセージが MIDI Outから送信（出力）されます。

❸ フットスイッチを押してMIDI Outモードを保存し、終了します。

NOTE：MIDIデータは、**EXP/MIDI**ジャックのTRS接続の**RING**から送信されます。

MIDI 機能

MIDI モードでプリセットを保存する

MIDIモードでは、現在ロードされている設定を本機の300のプリセットロケーションのいずれかにいつでも保存できます。

❶ 保存モードに入るには、LEDが**グリーン**に点滅して本機がMIDIプログラムチェンジメッセージの受信を待っていることを示すまで、フットスイッチを少なくとも2秒間長押しします。

❷ ペダルの現在の状態を現在ロードされているプリセット位置に保存するには、LEDが**ブルー**に点灯するまでフットスイッチを少なくとも2秒間押し続けます。

OR

ペダルの現在の状態を任意のプリセット位置に保存するには、本機の現在選択されているMIDI チャンネルでMIDIプログラムチェンジをユニットに送信します。

例えば：

- MIDI Program Change #10を送信して、プリセットをペダルの対応するメモリー位置に保存します。
- このプリセットを呼び出すには、MIDコントローラーまたはシーケンサーからMIDI ProgramChange#10を送信します。

MIDI スペシフィケーション

MIDI プログラムチェンジ

本機には、0〜299まで順番に番号が付けられた300のプリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは、最大数128（0-127）であるため、プリセットは3つにグループ化されます。

MIDI パッチバンク

MIDI BANK 0 = プリセット 0-127
MIDI BANK 1 = プリセット 128-255
MIDI BANK 2 = プリセット 256-299

MIDIプログラムチェンジ0 FAVセッティング（詳しくは14ページをご覧ください。）
MIDIプログラムチェンジ1 MultiSwitch Plus フットスイッチ 1
MIDIプログラムチェンジ2 MultiSwitch Plus フットスイッチ 2
MIDIプログラムチェンジ3 MultiSwitch Plus フットスイッチ 3
MIDIプログラムチェンジ127 マニュアルモード

NOTE：一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

本機は常にMIDIパッチバンク0で起動するため、最初の127のプリセット内にとどまる場合は、標準のMIDIプログラムチェンジメッセージを送信してプリセットをロードするだけです。

MIDIバンク1および/または2を使用する場合は、各MIDIプログラムチェンジの前に、標準のMIDIバンクチェンジメッセージ（MIDIバンク#と等しい値を持つMIDI CC# 0）の送信が必要です。

MIDIバンク0、1、または2で Program Change127を選択すると、本機はマニュアルモードになります。このモードでは、本機は現在のノブとスイッチ設定に戻ります。このプリセット位置にプリセットデータを保存することはできません。

MIDI スペシフィケーション（続き）

MIDI CCs

CC#	PARAMETER	RANGE	ENUMERATION
0	Bank Select	0-2	(0=Bank 1, 1=Bank 2, 3=Bank 3)
11	Ensemble	1-3	(1=off, 2=mp, 3=forte)
12	Decay	0-127	
13	Pre-Delay	0-127	
14	Tone	0-127	
15	Mod	0-127	
16	Mix	0-127	
27	Footswitch	0, 127	(0=release, 1-127=press)
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
97	Freeze	0, 127	(0=release, 1-127=hold)
98	Infinite	0, 127	(0=release, 1-127=hold)
100	Expression Pedal	0-127	(0=heel, 127=toe)
102	Bypass/Engage	0, 127	(0=bypass, 1-127=engage)

NOTE：すべてのオン/オフパラメーターは、0=オフおよびその他の値（1-127）=オンで実行されます。多くのMIDIコントローラーがオン/オフ スイッチ用に0と127を送信するため、これらは「0」と「127」として記載されます。

NOTE：一部のMIDIアプリケーションおよびコントローラーは、MIDI列挙を0ではなく1から始めます。これらの設定では、表の数値を1ずつ増やします。

ファクトリーリセット（工場出荷時の設定へリセットする）

ファクトリーリセットを実行すると、ペダルが工場出荷時のデフォルトのパワーアップ機能に復元され、保存されているすべてのプリセットは工場出荷時のデフォルト設定に置き換えられます。

❶ フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。LEDが点滅したらフットスイッチを離します。

❷ フットスイッチを再度押したままで、**PRE-DELAY**（**FACTORY RESET**）ノブを最小～最大まで2度回します。LEDは、ノブ範囲の端で色が変わり、**レッド**に点滅して、リセットが行われていることを表示します。

- **TURN1、最小～最大まで：アンバー**
- **TURN2、最大～最小へ：レッド**
- **TURN3、最小～最大まで：アンバー**
- **TURN4、最大～最小：レッド**にLEDが点滅し、本機はリセットされ、再起動します。

ファクトリーリセット（続き）

FACTORY DEFAULT SETTINGS	
Bypass Mode:	True Bypass
Spillover Mode:	Off
Dry Signal:	Digital
EXP/MIDI Jack:	Assigned to Expression Mode and configured to control the **MIX** knob
MIDI Channel:	1
MIDI OUT Mode:	Off
MIDI Expression:	On

主な特徴

- コンピューター的に非常に複雑な演算を採用したリバーブ
- トーン、プリディレイコントロールが柔軟なリバーブトーンシェーピングを可能にします。
- 中程度〜強烈に変調されたリバーブサウンドの調整が可能です。
- ゼロレイテンシーのドライ信号用に、デジタル変換されないアナログドライパスのオプションが選択できます。
- アンサンブル エフェクト：オーケストラにインスパイアされた豊かな倍音が増強できる
- ドライキルモード：ドライ信号をミュートし、ウェット信号のみを制御できるオプション
- ステレオ入出力（各ジャックに「TRS – デュアルTS」アダプターケーブルが必要です。）
- トゥルーバイパス（リレースイッチング）
- TRSエクスプレッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch Plus、TRS MIDIが接続可能なエクスプレッション入力
- 継続的にサウンドを保持するフリーズとインフィニティの2つの独立モード
- ハイインピーダンス超低ノイズClass-A JFETプリアンプ入力
- MIDI CCs、MIDIクロック同期、300プリセットロケーションのフルMIDI機能をサポートします。
- ファームウェアの更新とStrymon Nixie エディターソフトウェアへの接続が可能なUSB-Cジャックを搭載。
- +10dBu最大入力レベルが楽器からラインレベルの広い信号への対応を可能にしました。
- 高性能520MHz ARM スーパースカラープロセッサーを採用。
- 32 ビット浮動小数点演算
- 超低ノイズ、高性能 A/D および D/A コンバーター
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA

スペシフィケーション

入力インピーダンス	1 Meg Ohm
出力インピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	116 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング)
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 4.3 cm x (H) 5.6 cm

電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、250mA以上のアダプターを使用してください。9Vより高い電圧の電源に接続しないでください。アダプターは付属されていませんので、別途ご購入ください。

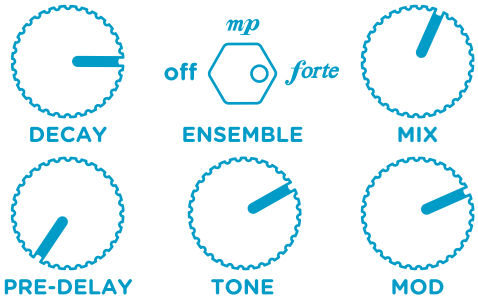
© 2022 Damage Control Engineering, LLC.

Strymon, the Strymon logo, and Damage Control Engineering are trademarks or registered trademarks of Damage Control Engineering, LLC. in the U.S. and/or other jurisdictions.

Appendix 1：サンプルセッティング

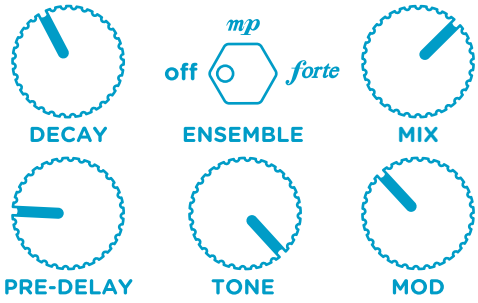
サンプルセッティング

Airstream



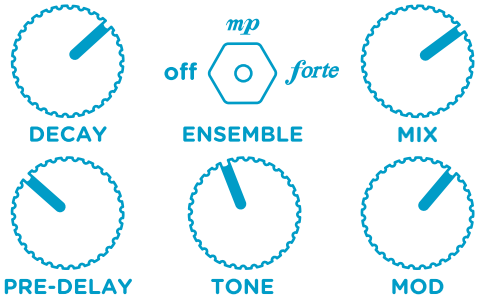
MIDI Program Change 0
MiniSwitch Favorite

Beautifier



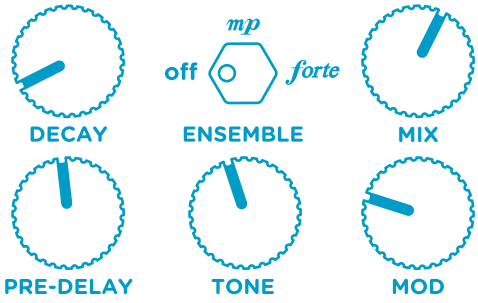
MIDI Program Change 1
MultiSwitch Plus A

Pad Thai



MIDI Program Change 2
MultiSwitch Plus B

Thick Slap



MIDI Program Change 3
MultiSwitch Plus C

Appendix 2：パワーアップモード クイックリファレンス

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターとその機能には、電源投入手順によってアクセスできます。すべてのパワーアップ機能は、電源を入れ直しても維持されます。

❶ フットスイッチを2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。
LEDが点滅したらフットスイッチを離します。

❷ 以下のコントロールで必要な機能を調整します。

❸ フットスイッチを押して変更を保存し、パワーアップモードを終了します。

POWER UP MODE	OPTIONS
バイパスモード **モノ I/O** 図を用いた説明は 8 ページをご覧ください	**ENSEMBLE** スイッチをセットして行います。ステータスは LED で表示されます。 ● **トゥルーバイパス:**スイッチ off（左）ポジション LED **グリーン**（デフォルト設定） ● **バッファードバイパス：**スイッチ **forte**（右）ポジション LED **レッド**
スピルオーバーモード 図を用いた説明は 9 ページをご覧ください	**MOD** ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 ● **オフ：アンバー**（デフォルト設定、最小位置） ● **オン：パープル**（最大位置）
ドライ信号 図を用いた説明は 10 ページをご覧ください	**TONE** ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 ● **デジタル：グリーン**（デフォルト設定、最小位置） ● **アナログ：レッド**（12 時の位置） ● **キルドライ：ブルー**（最大位置）
EXP/MIDI ジャックモード 図を用いた説明は 11 ページをご覧ください	**MIX** ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 ● **Expression/ エクスプレッション：グリーン**（デフォルト設定、最小位置） ● **Favorite/ フェイバリット：アンバー**（11 時の位置） ● **Freeze/ フリーズ：レッド**（12 時の位置） ● **Infinite/ インフィニティ：パープル**（2 時の位置） ● **MIDI：ブルー**（最大位置）

パワーアップモード - クイックリファレンス（続き）

POWER UP MODE	OPTIONS
MIDI チャンネル 図を用いた説明は 22 ページをご覧ください	**DECAY** ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 ● **1：グリーン**（デフォルト設定、最小位置） ● **2：アンバー**（10 時の位置） ● **3：レッド**（12 時の位置） ● **4 - 16：ブルー**（最大位置、MIDI メッセージでチャンネルが MIDI チャンネルセレクトされます。）
MIDI OUT モード 図を用いた説明は 24 ページをご覧ください	**PRE-DELAY** ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスが LED で点滅表示されます。 ● **OFF：レッド**（デフォルト設定、最小位置） ● **THRU：ブルー**（11 時の位置） ● **ON CC, OTHER：グリーン**（1 時の位置） ● **ON OTHER：アンバー**（最大位置）
ファクトリーリセット 図を用いた説明は 28 ページをご覧ください	フットスイッチを押したまま、**PRE-DELAY** ノブを 0% から 100% まで 2 回回します。LED にステータスが表示されます。

NOTE：13ページの「Expression Pedal Setup/エクスプレッションペダルのセットアップ」を参照して、プリセットごとにペダル機能を設定します。

品質保証に関して

本機はStrymon 日本総代理店 オールアクセスインターナショナル株式会社が、ご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理が必要な際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店の捺印 必須)を提示の上、購入された販売店にご依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても保証の対象にはなりません。

保証対象者は「購入者」であるファーストオーナーに限られます。中古品を売買するサイトや販売店からの中古品、譲渡された製品は、この保証の対象にはなりません。また、海外で購入されたstrymonプロダクトは、国内では保証の対象にはなりませんので、ご了承ください。

ノート：全てのstrymon製品はシリアルナンバーが登録＆保存されています。

注：本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

品質保証に関して

■ 取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。
クリーナーやシンナーは使用しないでください。

■ サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取り扱いは行わないで下さい。
記載外の使用方法で本機を使用されますと故障する場合が考えられます。本書に基づいた使用方法に限定してください。記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取り扱いは慎重に行なって下さい。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。
修理が必要な場合は、購入先もしくは弊社へご依頼下さい。

strymon 正規輸入販売代理店
オールアクセスインターナショナル 株式会社

本 社：愛知県あま市本郷三反地21番地
営業事務所：愛知県あま市本郷四反田27番地

【お問い合わせはこちら】
mail：support@allaccess.co.jp
https://allaccess.co.jp